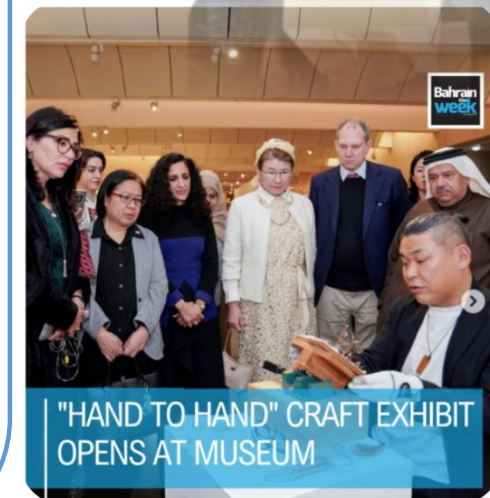


日本伝統工芸関連企業及び職人の広報支援（バーレーン）

在バーレーン大使館

- 開催日：令和7年2月28日（展示会オープニングセレモニー及びイベント）
- 場 所：バーレーン国立博物館
- 来訪企業：朝日焼（松林豊斎氏）、開化堂（八木隆裕氏）、上出長右衛門窯（上出恵悟氏）、金網つじ（辻徹氏）、中川木工芸（中川周士氏）
- 展示会主催：バーレーン文化・古代遺跡庁（BACA）、チャワン日本茶屋、ブドール・スティール、鈴木英恵氏
- 協力：在バーレーン日本国大使館、エブラヒム・K・カヌー、ガルフ石油化学工業株式会社、バーレーン日本ビジネス友好協会、ダルシーン・カフェ、ウェルビーイング・フォー・プラネット・アース財団（日本）、鍵善（日本）、バーレーン国立博物館、春の文化祭



【概要】

- バーレーンで2月末に行われた第19回春の文化祭の一環として、「手から手へー100年の新しい工芸」展がバーレーン国立博物館で開催され、5名の日本人工芸職人が手掛けた、個性豊かな手工芸品や美術作品が展示された。
- 開会式には岡井大使をはじめ、BACA高官や文化関係者らが出席した。職人本人による、制作デモンストレーションなども行われ、日本文化の美しさや機能性を体験・共有する大変有意義な催しとなった。
- 在バーレーン大使館は日本の伝統工芸の美と職人技をより広く伝えるべく、同展示会、作品、職人に焦点を当てたメディア・アプローチ及びSNSでの広報活動を積極的に行い、日本の伝統工芸の認知向上、集客、職人が有する工房の中東での事業拡大に寄与した。その結果、展示会の期間が10日ほど延長され、さらなる集客・日本文化の普及機会の拡大につながった。
- また2月25日には別途岡井大使はバーレーンを訪問した日本人工芸職人と面談し、職人の工芸への思いや当地における事業展開、また大使館の日本文化広報に関する取り組みについて意見交換した。